

～働きやすい企業を目指して～

シナノケンシ(株)

# 信州 取組事例

## 企業紹介

### シナノケンシ(株)



所在地：上田市

業種：製造業

規模：労働者500～999名

HPアドレス<http://www.shinanokenshi.com/japanese/>

弊社は、精密モータ・アクチュエータ、産業システム機器、福祉生活支援機器の開発・製造・販売を行っており、2018年に100周年を迎えます。

売上の9割を占めるモータソリューション分野では、車載、家電機器、事務機器、産業機器や医療機器用など、幅広く使用されており、それぞれの分野で高いシェアを持っています。創業以来、堅実経営を守りながら常に新しい分野に挑戦してきました。

また、ワークライフバランスの取組みにも力を入れており、社員にとって働きやすい環境づくりを推し進めています。

## 具体的な取組内容・効果等

### ● 目的

所定外労働削減、年次有給休暇取得促進、特別な休暇制度、育児・介護労働者の仕事と生活の両立支援、テレワーク、生産性向上、業務効率化

### ● 取組内容

- 労使によるワークライフバランス委員会を設置し、所定外労働削減を促進
- 継続的な所定外労働削減の取組によりノー残業デーを週1日から週4日(月・火・水・金)へ
- ノー残業デーには、朝夕の社内放送による呼びかけや、終業時刻後に役員による巡回を実施
- 年次有給休暇の計画的付与制度(年4日)を導入
- 特別有給のリフレッシュ休暇制度(勤続10年、20年、30年)を導入
- 私傷病、育児・介護のために利用可能な上限45日間の年休積立制度を導入
- 育児休業は最長3歳到達後最初の4月末まで利用可能

- 育児の短時間勤務制度等は小学1年4月末まで利用可能
- 介護休業は通算365日間まで回数制限なく利用可能
- 営業社員や育児・介護期間中の社員にテレワーク(在宅勤務)を導入
- 間接業務効率化活動の実施  
社員のすべての間接業務のフローチャートとマニュアルを作成、可視化し、作業時間が最も短い処理方法を標準化。標準化、マニュアル化する過程での無駄の排除と改善提案制度による継続的な業務の見直しにより業務の効率化を図っている。

### ● 効果

- 1人当たりの月平均時間外労働時間は約8.5時間
- 年次有給休暇の取得率約65%
- 女性の育児休業取得率と復帰率は共に100%
- 間接業務効率化活動により年間40人以上に相当する労働時間を削減、業務の効率化に対する改善意識が向上 等

## 働く人の声

男性社員 Aさん  
勤務年数：7年



二人目の産後に1ヶ月の育児休業を利用しました。平日は出張ばかりで育児・家事は任せきりでしたが、当事者(主夫)として産後の育児・家事に携わったことで、仕事とは異なる家事・育児の喜び・苦労を共有し、妻への感謝をより一層感じる事ができたのが収穫でした。多忙な時期でしたが会社、同僚の協力で感謝です。

## 企業からのメッセージ

社員の能力発揮は、生産性向上の要であり、社員との話し合いを通じ、安心して働き続けられる職場環境の実現を今後も目指していきます。